NEWS RELEASE

２０２６年１１月１３日

グローバルＲ＆Ｄ体制をさらに強化
欧州に続き米国に「Yakult Americas R&D Center Inc.」を設立

株式会社ヤクルト本社（社長　成田 裕）は、グローバルなＲ＆Ｄ体制構築の拠点として、欧州に続き、米国カリフォルニア州サクラメントにあるカリフォルニア大学デービス校（UC Davis）のキャンパス内に位置し、「Wexford Science & Technology※」が開発・運営するイノベーションハブ「Aggie Square（アギースクエア）」内に、「Yakult Americas R&D Center Inc.」を２０２６年１１月１０日に設立しましたのでお知らせします。

※大学、医療機関、研究機関および企業と連携し、研究・人材・資本・事業を結び付けるイノベーション拠点の開発・運営を通じて、研究成果の社会実装や地域経済の発展を推進する米国企業です。



＊Yakult Americas R&D Center Inc.が拠点を構えるAggie Squareの外観

当社は、日本を含む世界４０の国と地域で事業を展開しています。近年、各国・地域において、お客さまのニーズや食品を取り巻く法規制が多様化しており、それらに的確かつ迅速に対応するとともに、地域特性にあった商品開発や新たな価値創出に向けた研究を行うことがますます重要となっています。

こうした背景から、当社は事業展開地域における商品開発機能と研究機能の強化を目的として、オランダに「Yakult European R&D Center B.V.」を２０２５年９月に設立しました。今回、新たなＲ＆Ｄ拠点を設けた米州は、当社が米国、メキシコ、ブラジルなどで事業を展開する世界有数のプロバイオティクス市場であり、多様な文化や食生活を背景に、お客さまのニーズも多岐にわたります。本拠点では、米州地域のニーズや食品トレンドを的確に捉え、地域特性に応じた商品開発を推進します。

また、本拠点の所在地であるカリフォルニア大学デービス校（UC Davis）は、農学・食品科学分野における世界有数の研究機関であり、食品機能や腸内細菌叢など、食と健康に関する幅広い研究が行われています。同大学の産学連携拠点である「Aggie Square」を活動拠点とすることで、大学や研究機関、企業との交流・連携や知識の共有を通じて、腸の健康をはじめとする健康課題への対応や、新たな価値創出に向けた研究活動を進めていきます。

こうした研究開発体制の強化を通じて、人々の健康とウェルビーイングに一層貢献するとともに、グローバル企業としてさらなる進化を目指します。

記

【Yakult Americas R&D Center Inc.の概要】

１．名　　称　：　Yakult Americas R&D Center Inc.
２．所 在 地　：　米国カリフォルニア州サクラメント市
　　カリフォルニア大学デービス校サクラメントキャンパス内
　　Aggie Square（アギースクエア）
３．代 表 者　：　西川 賢
４．設立年月日　：　２０２６年１１月１０日
５．会社形態　：　米国法人（C Corporation、非上場）
６．出資総額　：　２００万米ドル（株式会社ヤクルト本社１００％出資）

以　上